

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	多機能型支援施設 あゆみ園		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 日		令和7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日		令和7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との伝達ツールが複数ある。	自宅への送迎を行っていないので、お迎えに来られた時に、顔を合わせて今日のできごとをお話できたり、相談がある時には時間をとることができる。連絡帳でご自宅の様子や事業所での様子を伝えあうことができる。利用の確認をLINEですること確認がとりやすくなった。	園だよりを使い、事業所での様子だけでなく、職員研修(事業所見学等)で得た情報を載せることがある。
2	希望がある場合は8時～18時まで利用することができる。土曜日、祝日も営業している。(R7年4月から日曜日は休業)	お仕事をされている保護者の方や、兄弟児の用事で土曜祝日や長い時間の預かり希望がある方に、安心してご利用いただけるよう営業時間を延ばして対応している。	土曜日に中学生限定で電車に乗って外食体験をする企画を行った。休日を有効的に使い、将来のためになるような企画をこれからも行っていきたい。
3	生活介護と併設している。	将来の進路先に生活介護を考えている方は、慣れるために放デイから利用を始める方がいる。空き状況や、他の利用者様との相性にもより、確実に生活介護へ進むことができるわけではないが、場に慣れるきっかけになっている。・生活介護の看護師に発作時や体調不良、ケガの時に診てもらえるので安心。	自習前に生活介護の職員が放デイでの様子を見学できたり、気をつける点等、情報共有することができる。コロナ禍中はできていなかったが、夏祭りを合同開催し、大人の利用者様と交流することができた。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋数が少ない。個室がない。	主に過ごす学習室の他に、相談室、食堂、生活介護の休業日には作業室が使えるが、相談室や食堂は必ず使いたいときに使えるわけではないので、急きょ分けたいときに難しいことがある。	室内で分けることが難しい時には、外での活動を順番におこないたいが、分けるためには人手も足りない。
2	駐車場が少ない。駐車場に屋根がない。	スロープ等のバリアフリーはできているが、保護者の方の駐車場や車まで向かう間に屋根がないので、車イスやバギー等、乗り降りに時間がかかる方は不便。	職員の手が空いている時にはお手伝いできるが、毎回できるわけではないので申し訳ないと感じる。事業所の車を停めているところには屋根があるので、駐車場の止め方を工夫すれば改善できるのではと思う。
3	女性職員が多い。	同性介護をしたいが男性職員が少ないので、女性職員が男児のトイレ介助、着替え介助を行っている。	男性職員の採用、育成。